

「京都桂病院における排尿ケアチームの実態調査」 のお知らせ

2016年の診療報酬改定において患者さんの排尿自立を目指して「排尿自立支援加算」の算定が可能となっています。当院でも2018年から多種職(医師、看護師、理学療法士)からなる排尿ケアチームを設置し、不要な膀胱留置カテーテルの抜去や排尿の自立を促しています。当院におけるこれまでの排尿ケアチームの実態の把握を行い、今後のより効率的な排尿自立計画の立案を目指すためこれまで排尿ケアチームで介入した患者さんの実態調査を行っています。

<研究対象>

2018年1月1日から2020年12月31日の期間に京都桂病院に入院中、排尿障害のため排尿ケアチームで介入した患者さん。

<研究期間>

2027年3月31日までを予定しています。

<研究内容>

診断時年齢、性別、身長、体重、FIM(日常生活動作の指標)、既往歴、入院理由、入院時や退院時の排尿状況、排尿ケアチームによる介入状況などの臨床情報を診療録より収集します。

<研究代表者> 京都桂病院 副院長・泌尿器科部長兼務 大久保 和俊

研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は一切含まれません。また、学会や出版物として公表することがありますが、いかなる場合でも個人情報漏れることはありません。プライバシーは守られます。本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で承認されています。

本研究の趣旨をご理解いただき本研究に参加をお願いします。もし参加を望まれない場合は研究から除外しますので担当医師にお申し出ください。研究が始まった後でも自由に参加を取りやめることができますのでその際も担当医師にお伝えください。ご協力いただけない場合でも、今後の診療に不利益はきたしません。また、ご質問がある場合も担当医師にお伝えください。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2022年3月25日

京都桂病院 副院長・泌尿器科部長兼務 大久保 和俊